



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社マミーMarkt 上場取引所 東
コード番号 9823 URL https://mami-mart.com
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 2024年6月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	79,107	12.2	4,146	46.6	4,440	43.8	3,009	61.8
2023年9月期第2四半期	70,496	7.7	2,828	△13.5	3,088	△12.2	1,859	△22.2

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 3,021百万円 (59.1%) 2023年9月期第2四半期 1,899百万円 (△20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	301.19	—
2023年9月期第2四半期	174.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第2四半期	68,596	36,579	53.3	3,654.37
2023年9月期	66,428	34,014	51.2	3,402.59

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 36,543百万円 2023年9月期 33,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	32.00	—	51.00	83.00
2024年9月期	—	40.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	47.00	87.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	7.6	6,000	1.7	6,500	1.8	4,350	0.8	435.19

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	10,796,793株	2023年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	796,868株	2023年9月期	810,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	9,991,052株	2023年9月期2Q	10,643,771株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（表示方法の変更について）

前第2四半期連結累計期間において、「特別利益」の「貸倒引当金戻入益」を区分掲記しておりましたが、金額的重要性と回収実態の観点から、第1四半期連結累計期間より「販売費及び一般管理費」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表及びセグメント情報等の組替えを行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績数値

当第2四半期連結累計期間の連結営業成績は、営業収益79,107百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益4,146百万円（同46.6%増）、経常利益4,440百万円（同43.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,009百万円（同61.8%増）となりました。

セグメント別の営業状況は、以下のとおりです。

(スーパーマーケット事業)

売上高	77,737百万円（前年同期比12.5%増）
セグメント利益	4,119百万円（前年同期比47.3%増）

スーパーマーケット事業では、新しい店舗フォーマットとして転換を進めている「生鮮市場TOP!」「マミープラス」において、こだわりの商品・圧倒的な低価格がお客様から好評を得たことにより、前期から2店舗閉鎖し新規出店がなかったものの、既存店の売上高は大きく伸長いたしました。改装店舗の年商は2年目以降も伸長し続け、既存店の収益基盤は拡大しております。

既存の「マミーマート」店舗においても、品揃え・レイアウトの見直しを実施し、日配・グロスアリー商品の価格強化をPB商品中心に展開することにより、来店動機の向上に繋がっております。

セグメント利益は、ローコストオペレーション運営のために、AI自動発注、LSP（Labor Scheduling Program）といったデジタル関連投資、フルセルフレジの導入、第二物流センター（埼玉県三郷市）の稼働等を進めた効果が現れ始め、好調に推移しております。また、自社製造工場である彩裕フーズに新規設備を導入し、「魅惑のとろける4種のチーズ入りメンチカツ」という年商1億円を超える新たなヒット商品が誕生いたしました。

(その他の事業(温浴事業・葬祭事業))

売上高	207百万円（前年同期比5.7%減）
セグメント利益	27百万円（前年同期比16.0%減）

2024年3月31日現在の店舗数は、78店舗（マミーマート他47店舗、生鮮市場TOP!24店舗、マミープラス5店舗、温浴事業1店舗、葬祭事業1店舗）となっております。

②企業の経営方針及び取り組み

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食生活を通じて地域のお客様の健康と笑顔あふれる豊かな人生を応援する「Enjoy Life!」（※）のグループコンセプトのもと、2024年9月期からスタートしている第二次中期経営計画における取り組みとして、以下に注力しております。

（※）「Enjoy Life!」とは、地域のお客様に毎日の食生活を通じて、健康で笑顔あふれる豊かな人生を楽しんでいただくことを応援する、マミーマートグループ独自のコンセプトです。

〔圧倒的地域No. 1店舗の構築〕

従来より取り組んでいる「新フォーマットのディスティネーション店舗としての魅力」を持続的に進化させ、他店にはない心躍る店舗作りを実践いたします。当社の独自性に優れた、インパクトのあるディスティネーションアイテムの拡充を継続し、お客様が新たな驚きと新鮮さを感じる、また行きたくなる店舗作りを進めております。

一例として、一般社団法人全国スーパーマーケット協会主催「お弁当・お惣菜大賞2024」では、全国14,000品を超えるエントリー商品の中から、11個ある部門のうち3部門で最優秀賞、8部門で14品入選の計17品で受賞いたしました。受賞は11年連続となり、総受賞数は累計107品に達し、業界最多記録を更新しております。

また、一般社団法人日本唐揚協会主催「第15回からあげグランプリ」東日本スーパー総菜部門において、当社の「鶏ささみのクリスピーチキン」が金賞を受賞いたしました。加えて日本食糧新聞社主催の「ファベックス惣菜・べんとうグランプリ2024」におきましても、当社の「美味し肩ロース焼豚のおつまみセット」が金賞を受賞、「10種の野菜たっぷり生ハムサラダピザ」が優秀賞を受賞いたしました。

加えて、味と品質だけでなく、サステナブルな事業活動の一環として、フードロス対策にも注力しております。例えば、「お弁当・お惣菜大賞2024」最優秀賞商品である「三陸産茎わかめと鮭の炊き込みご飯弁当」では、茎わかめや、鮭の未利用の部位を有効活用しており、オリジナリティ溢れる商品開発とフードロス削減を実現しております。

「お弁当・お惣菜大賞2024」 最優秀賞3品

1万点を超えるエントリーから選ばれました!

Bento and Prepared Meal Awards
お弁当・お惣菜大賞2024

最優秀賞

三陸産茎わかめと鮭の炊き込みご飯弁当

三陸産の茎わかめのシャキッとした食感を活かすため、塩抜き・ボイルしたものを、炊きあがったご飯に後から混ぜ込んでいます。

1万点を超えるエントリーから選ばれました!

Bento and Prepared Meal Awards
お弁当・お惣菜大賞2024

最優秀賞

ギルトフリーミートソースのスパゲッティ

大盛の Pasta ですが、自家製ミートソースに蒸し野菜をたっぷりトッピングしているので「ギルトフリー(=罪悪感なし)」!1日の野菜摂取目標の1/2が食べられます。

1万点を超えるエントリーから選ばれました!

Bento and Prepared Meal Awards
お弁当・お惣菜大賞2024

最優秀賞

島豆腐と沖縄県産もずくの塩ドレサラダ

食べ応えのある島豆腐に、もずくの食感、オリーブオイルの塩ドレッシングが相性抜群のサラダ。島豆腐には、飽きごないよう出汁を加えています。

「第15回からあげグランプリ」金賞

第15回からあげグランプリ

東日本スーパー 惣菜部門

金賞受賞

鶏ささみのクリスピーチキン

サクサク食感!

「ファベックス惣菜・べんとうグランプリ2024」金賞

スーパー・コンビニ・百貨店等、多数のエントリーから選ばれました!

わが社自慢の惣菜・べんとう部門

ファベックス 惣菜・べんとうグランプリ

金賞を受賞!

美味し肩ロース焼豚 おつまみセット

赤身と脂のバランスが良い肩ロースを使用し、「真空調理」で柔らかく仕上げています。焼豚は厚くカットし、おつまみにもラーメンの具にもピッタリな、メンマと煮卵を合わせました。

〔出店・改装スピードアップとエリア拡大〕

当第2四半期連結累計期間は、2024年1月に岩槻府内店（埼玉県さいたま市）を「生鮮市場TOP!」へ改装、2月に所沢青葉台店（同所沢市）を「マミープラス」へ改装し、業績を伸ばしております。第3四半期においては、2024年4月に弥十郎店（同越谷市）を「マミープラス」へ改装しており、新フォーマットへの改装を今後も進めてまいります。また、今年度は「生鮮市場TOP!」としての新規出店を2店舗、予定しております。

〔人材育成〕

スキルアッププログラムを導入し、従業員一人ひとりの技術を正當に評価して資格等級と連動させ賃金に反映することで早期成長とやりがい・満足度の向上に繋げております。店舗・本部が一体となった業務プロセス改善活動（M3活動）は、パートナー中心にチームで改善に取り組んでおり、好事例の全店への拡大等を実施しております。また、オフィスカジュアルを導入いたしました。個人の多様性・個性を重視した職場環境を構築しております。

新たに、従業員満足度向上に向けた施策の一環として、入社5年目までの新入社員を対象とした奨学金返済支援制度を制定いたしました。

これらの施策による従業員の「やりがい・働き易さ・創造性発揮とコミュニケーションの活性化」を通して、更なる生産性向上へと繋げてまいります。

〔CSR活動〕

当社は、地域の全てのお客様に楽しくお買い物していただくという考えのもと、地域の学校、取引先と連携した産学協同企画を開催しております。この企画は、2015年開催の当社と取引先との共同企画レシピコンテストにおいて、千葉女子高等学校の生徒が特別賞を受賞したことがきっかけとなり始まりました。今回で8回目の開催となり、生徒が「おうちレストランレシピ」をテーマにレシピを考案し、HPへの掲載、店頭にてレシピ冊子の配布を行い、お客様、学校関係者に好評を博しました。

今後も地域のお客様に愛される企業・店舗を目指し、活動を継続してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,168百万円増加し68,596百万円となりました。これは、主に新しい業態への転換が進み、売上が伸びたことによる現金及び預金と売掛金の増加であります。

負債は、前連結会計年度末より397百万円減少し32,016百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末より既存店改装店舗が少なかったことによる未払費用の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,565百万円増加し36,579百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,422百万円（前連結会計年度末比514百万円の増加）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は、4,026百万円（前年同四半期は4,003百万円の収入）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は、2,211百万円（前年同四半期は1,020百万円の支出）となりました。これは、主に既存店改装に伴う有形固定資産の取得及び今後計画している新規出店のための保証金の差入による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は、1,300百万円（前年同四半期は3,142百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。営業活動により獲得した資金で既存の長期借入金の返済を進め、次の大きな投資に向けて準備しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、業績予想の見直しを行った結果、2023年11月10日に公表いたしました2024年9月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日（2024年5月10日）別途開示いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、配当予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました配当予想から修正しております。詳細は、本日（2024年5月10日）別途開示いたしました「剰余金の配当及び配当予想修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,907	7,422
売掛金	3,014	3,580
商品	3,137	3,329
貯蔵品	7	9
その他	2,620	2,711
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	15,683	17,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,906	13,207
機械装置及び運搬具（純額）	415	529
土地	21,164	21,164
リース資産（純額）	3,849	3,654
建設仮勘定	122	258
その他（純額）	1,365	1,601
有形固定資産合計	39,824	40,415
無形固定資産	177	193
投資その他の資産		
投資有価証券	331	367
長期貸付金	126	107
差入保証金	6,544	6,766
賃貸不動産（純額）	392	391
繰延税金資産	2,514	2,511
その他	844	803
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	10,742	10,937
固定資産合計	50,744	51,546
資産合計	66,428	68,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,399	17,606
1年内返済予定の長期借入金	695	320
リース債務	487	464
未払費用	3,554	2,757
未払法人税等	1,106	1,513
賞与引当金	543	554
資産除去債務	214	152
その他	1,149	744
流動負債合計	24,150	24,113
固定負債		
長期借入金	160	—
リース債務	3,983	3,751
長期預り保証金	1,244	1,226
役員退職慰労引当金	419	404
退職給付に係る負債	1,339	1,402
資産除去債務	1,083	1,086
その他	32	31
固定負債合計	8,263	7,902
負債合計	32,413	32,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,867	2,886
利益剰余金	30,311	32,811
自己株式	△2,083	△2,049
株主資本合計	33,756	36,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	132
退職給付に係る調整累計額	117	101
その他の包括利益累計額合計	224	234
非支配株主持分	33	36
純資産合計	34,014	36,579
負債純資産合計	66,428	68,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	69,295	77,945
売上原価	52,576	59,391
売上総利益	16,718	18,553
営業収入	1,201	1,162
営業総利益	17,920	19,715
販売費及び一般管理費	15,091	15,568
営業利益	2,828	4,146
営業外収益		
受取利息	17	15
受取配当金	4	5
不動産賃貸料	63	63
受取手数料	130	128
その他	102	141
営業外収益合計	318	355
営業外費用		
支払利息	8	5
不動産賃貸費用	49	51
その他	1	4
営業外費用合計	59	61
経常利益	3,088	4,440
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
資産除去債務戻入益	—	4
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	3	10
減損損失	260	—
特別損失合計	264	10
税金等調整前四半期純利益	2,823	4,435
法人税、住民税及び事業税	1,005	1,424
過年度法人税等	△43	△1
法人税等合計	962	1,423
四半期純利益	1,861	3,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,859	3,009

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,861	3,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	26
退職給付に係る調整額	3	△16
その他の包括利益合計	37	9
四半期包括利益	1,899	3,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,897	3,019
非支配株主に係る四半期包括利益	2	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,823	4,435
減価償却費	1,083	1,135
減損損失	260	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
株式報酬費用	5	47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	△15
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	34	39
受取利息及び受取配当金	△22	△21
支払利息	8	5
固定資産除却損	3	10
資産除去債務戻入益	—	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	△182	△565
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△49	△194
未収入金の増減額 (△は増加)	160	△126
仕入債務の増減額 (△は減少)	445	1,207
未払費用の増減額 (△は減少)	△158	△505
その他	235	△420
小計	4,632	5,037
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△8	△5
法人税等の支払額	△625	△1,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,003	4,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,135	△1,997
無形固定資産の取得による支出	△60	△39
投資有価証券の売却による収入	—	2
貸付けによる支出	△5	△0
貸付金の回収による収入	18	20
差入保証金の差入による支出	△0	△487
差入保証金の回収による収入	185	301
保険積立金の解約による収入	—	72
保険積立金の積立による支出	△22	△20
資産除去債務の履行による支出	—	△57
その他	△1	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,020	△2,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,009	△535
リース債務の返済による支出	△259	△255
配当金の支払額	△372	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,142	△1,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△159	514
現金及び現金同等物の期首残高	2,838	6,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,679	7,422

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2024年1月19日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬及びパフォーマンス・シェア（業績連動型株式報酬）として2024年2月5日を期日とする自己株式の処分（13,309株）を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が19百万円増加し、自己株式は34百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	69,075	219	69,295	—	69,295
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	69,075	220	69,295	△0	69,295
セグメント利益	2,796	32	2,828	—	2,828

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スーパーマーケット事業」のセグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗について、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において260百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	77,737	207	77,945	—	77,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	0	△0	—
計	77,737	207	77,945	△0	77,945
セグメント利益	4,119	27	4,146	—	4,146

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計
	スーパーマ ケット事業		
商品の販売(売上高)	69,075	219	69,295
その他(営業収入)	427	9	437
顧客との契約から生じる収益	69,502	229	69,732

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. 四半期連結損益計算書上の営業収入に含まれる顧客との契約から生じる収益以外の収益は、当第2四半期連結累計期間において764百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計
	スーパーマ ケット事業		
商品の販売(売上高)	77,737	207	77,945
その他(営業収入)	422	9	432
顧客との契約から生じる収益	78,160	217	78,377

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. 四半期連結損益計算書上の営業収入に含まれる顧客との契約から生じる収益以外の収益は、当第2四半期連結累計期間において729百万円であります。